



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年10月31日

上場会社名 明星工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 1976 URL http://www.meisei-kogyo.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大谷 壽輝
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員財務部長 (氏名) 印田 博 TEL 06-6447-0275
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日 配当支払開始予定日 平成28年11月24日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	23,883	13.5	2,487	15.4	2,473	10.7	1,722	16.6
28年3月期第2四半期	21,035	△6.7	2,155	△14.2	2,235	△21.0	1,476	△17.6

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 1,419百万円 (8.7%) 28年3月期第2四半期 1,305百万円 (△23.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	33.06	33.04
28年3月期第2四半期	27.80	27.75

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	54,250	39,025	71.5	748.76
28年3月期	54,463	38,402	70.1	721.08

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 38,777百万円 28年3月期 38,163百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
29年3月期	—	6.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,500	9.0	5,200	△9.0	5,200	△10.3	3,450	△12.1	66.42

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	59,386,718株	28年3月期	59,386,718株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	7,598,512株	28年3月期	6,461,985株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	52,090,610株	28年3月期2Q	53,117,167株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10
(1) 受注及び売上の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、おおむね緩やかな回復基調で推移いたしました。海外においては中国及び新興国経済の下振れ懸念等もあり、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の受注高は、建設工事業の海外案件増加等により24,541百万円（前年同期比17.3%増）の計上となりました。売上高は、ボイラ事業において大型工事は減少しましたが、建設工事業におけるLNG関連工事等が順調に進捗したことにより、23,883百万円（同13.5%増）の計上となりました。

また、売上高の増加に伴い、営業利益は2,487百万円（前年同期比15.4%増）となり、経常利益は2,473百万円（同10.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,722百万円（同16.6%増）の計上となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①建設工事業

LNG関連工事等が順調に推移し、売上高は21,681百万円（前年同期比20.8%増）の計上となりました。また、国内工事が堅調であったことにより、セグメント利益は2,379百万円（同33.0%増）の計上となりました。

②ボイラ事業

国内大型案件の減少により、売上高は2,202百万円（前年同期比28.6%減）の計上となり、セグメント利益は58百万円（同81.7%減）の計上にとどまりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は35,148百万円となり、前連結会計年度末に比べ902百万円減少いたしました。主な要因は未成工事支出金の増加1,542百万円、受取手形・完成工事未収入金等の増加414百万円、現金預金の減少2,939百万円等であります。固定資産は19,102百万円となり、前連結会計年度末に比べ690百万円増加いたしました。主な要因は有形固定資産の増加509百万円、投資有価証券の増加159百万円等であります。

この結果、資産合計は54,250百万円となり、前連結会計年度末に比べ212百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は10,376百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,830百万円減少いたしました。主な要因は支払手形・工事未払金等の増加467百万円、未成工事受入金の増加171百万円、短期借入金の減少1,258百万円、支払信託の減少461百万円、買掛金の減少393百万円、未払法人税等の減少386百万円等であります。固定負債は4,848百万円となり、前連結会計年度末に比べ994百万円増加いたしました。主な要因は長期借入金の増加1,078百万円、退職給付に係る負債の減少45百万円、繰延税金負債の減少42百万円等であります。

この結果、負債合計は15,225百万円となり、前連結会計年度末に比べ835百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は39,025百万円となり、前連結会計年度末に比べ623百万円増加いたしました。主な要因は親会社株主に帰属する四半期純利益の増加1,722百万円、自己株式の取得による減少526百万円、為替換算調整勘定の減少239百万円、剰余金の配当による減少264百万円等であります。

この結果、自己資本比率は71.5%（前連結会計年度末は70.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績及び上記今後の見通しを勘案した結果、平成28年5月10日付「平成28年3月期 決算短信」において発表いたしました数値を以下のとおり修正しております。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想 (A)	48,000	5,000	5,100	3,250	62	49
今回修正予想 (B)	49,500	5,200	5,200	3,450	66	42
増減額 (B - A)	1,500	200	100	200	—	
増減率 (%)	3.1	4.0	2.0	6.2	—	
前期実績	45,412	5,716	5,796	3,923	73	83

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	16,245	13,306
受取手形・完成工事未収入金等	17,353	17,768
有価証券	33	30
未成工事支出金	1,375	2,918
商品及び製品	253	233
原材料及び貯蔵品	147	146
繰延税金資産	285	243
その他	398	541
貸倒引当金	△43	△39
流動資産合計	36,050	35,148
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	8,200	8,242
機械・運搬具	4,562	4,406
土地	11,374	11,374
その他	1,399	1,917
減価償却累計額	△10,917	△10,812
有形固定資産合計	14,620	15,129
無形固定資産		
	55	64
投資その他の資産		
投資有価証券	3,161	3,320
繰延税金資産	116	107
その他	498	519
貸倒引当金	△39	△39
投資その他の資産合計	3,737	3,908
固定資産合計	18,412	19,102
資産合計	54,463	54,250

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	5,892	6,360
支払信託	461	—
買掛金	743	349
短期借入金	1,330	72
未払法人税等	1,137	750
未成工事受入金	799	970
賞与引当金	419	397
役員賞与引当金	69	—
完成工事補償引当金	109	67
工事損失引当金	0	0
その他	1,243	1,407
流動負債合計	12,206	10,376
固定負債		
長期借入金	—	1,078
退職給付に係る負債	1,057	1,012
役員退職慰労引当金	345	355
繰延税金負債	1,889	1,847
再評価に係る繰延税金負債	483	483
資産除去債務	16	16
その他	61	55
固定負債合計	3,854	4,848
負債合計	16,060	15,225
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,889	6,889
資本剰余金	1,002	1,002
利益剰余金	30,430	31,888
自己株式	△2,116	△2,642
株主資本合計	36,206	37,137
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	628	534
土地再評価差額金	958	958
為替換算調整勘定	490	250
退職給付に係る調整累計額	△121	△104
その他の包括利益累計額合計	1,957	1,639
新株予約権	19	14
非支配株主持分	219	234
純資産合計	38,402	39,025
負債純資産合計	54,463	54,250

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
完成工事高	21,035	23,883
完成工事原価	16,832	19,377
完成工事総利益	4,203	4,506
販売費及び一般管理費	2,047	2,019
営業利益	2,155	2,487
営業外収益		
受取利息	22	20
受取配当金	60	69
不動産賃貸料	60	56
その他	35	31
営業外収益合計	179	177
営業外費用		
支払利息	7	5
不動産賃貸原価	30	28
為替差損	34	121
その他	27	35
営業外費用合計	99	191
経常利益	2,235	2,473
特別損失		
投資有価証券評価損	1	—
特別損失合計	1	—
税金等調整前四半期純利益	2,234	2,473
法人税、住民税及び事業税	657	693
法人税等調整額	84	44
法人税等合計	741	737
四半期純利益	1,492	1,736
非支配株主に帰属する四半期純利益	15	14
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,476	1,722

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	1,492	1,736
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△152	△94
為替換算調整勘定	△41	△239
退職給付に係る調整額	5	16
その他の包括利益合計	△187	△317
四半期包括利益	1,305	1,419
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,289	1,405
非支配株主に係る四半期包括利益	15	14

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,234	2,473
減価償却費	147	172
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△10	△4
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△16	—
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2	10
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△80	△133
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△53	△21
受取利息及び受取配当金	△83	△90
支払利息	7	5
為替差損益 (△は益)	1	108
売上債権の増減額 (△は増加)	446	△414
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	△735	△1,542
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△33	21
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	683	171
仕入債務の増減額 (△は減少)	△347	△474
その他	△653	△9
小計	1,509	272
利息及び配当金の受取額	83	89
利息の支払額	△7	△5
法人税等の支払額	△1,529	△1,063
営業活動によるキャッシュ・フロー	55	△706
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,284	△619
定期預金の払戻による収入	1,497	542
投資有価証券の取得による支出	△285	△320
投資有価証券の売却及び償還による収入	248	17
有形固定資産の取得による支出	△59	△664
その他	△10	△42
投資活動によるキャッシュ・フロー	104	△1,086
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	150	△400
長期借入れによる収入	100	1,150
長期借入金の返済による支出	△524	△930
自己株式の取得による支出	△0	△545
ストックオプションの行使による収入	20	13
配当金の支払額	△212	△264
その他	10	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△456	△976
現金及び現金同等物に係る換算差額	△50	△191
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△346	△2,961
現金及び現金同等物の期首残高	14,881	15,325
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,535	12,363

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	建設工事業	ボイラ事業	計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	17,950	3,085	21,035	—	21,035
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	69	76	(76)	—
計	17,957	3,155	21,112	(76)	21,035
セグメント利益	1,788	319	2,108	47	2,155

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	建設工事業	ボイラ事業	計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	21,681	2,202	23,883	—	23,883
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	113	113	(113)	—
計	21,681	2,315	23,996	(113)	23,883
セグメント利益	2,379	58	2,438	48	2,487

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

(1) 受注及び売上の状況

a. 受注高

区 分	平成28年3月期 第2四半期		平成29年3月期 第2四半期		対前年同期 増減	平成28年3月期	
	金額 (百万円)	%	金額 (百万円)	%		金額 (百万円)	%
建設工事業	18,796	89.9	22,557	91.9	3,761	39,446	90.0
ボイラ事業	2,122	10.1	1,983	8.1	△139	4,405	10.0
合 計	20,919	100.0	24,541	100.0	3,621	43,852	100.0

b. 売上高

区 分	平成28年3月期 第2四半期		平成29年3月期 第2四半期		対前年同期 増減	平成28年3月期	
	金額 (百万円)	%	金額 (百万円)	%		金額 (百万円)	%
建設工事業	17,950	85.3	21,681	90.8	3,730	39,076	86.0
ボイラ事業	3,085	14.7	2,202	9.2	△883	6,336	14.0
合 計	21,035	100.0	23,883	100.0	2,847	45,412	100.0